

経営比較分析表（令和3年度決算）

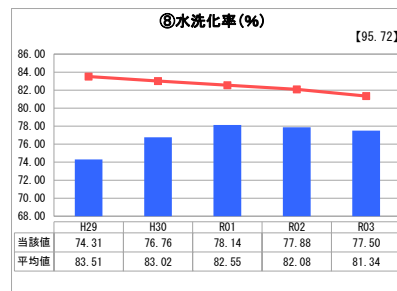
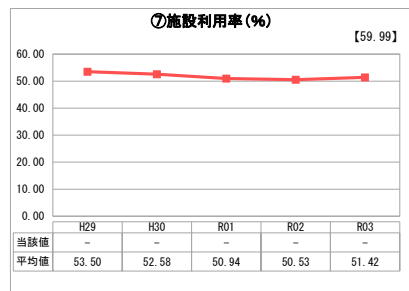
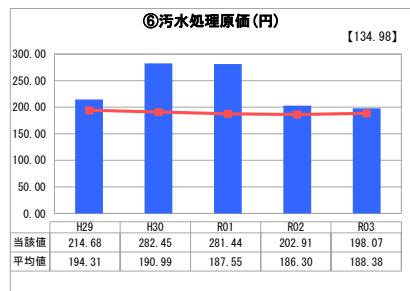
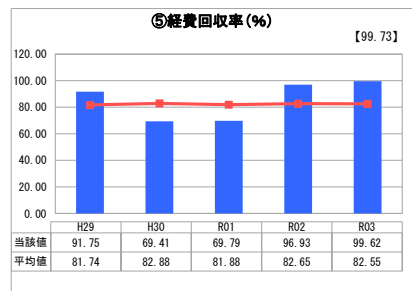
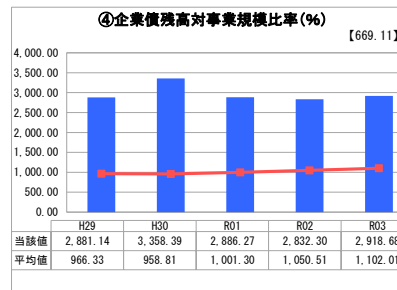
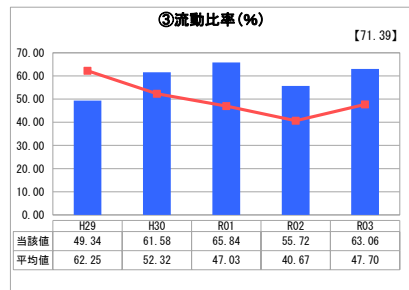
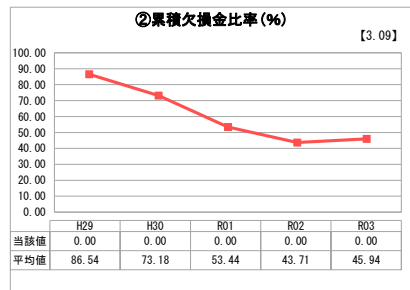
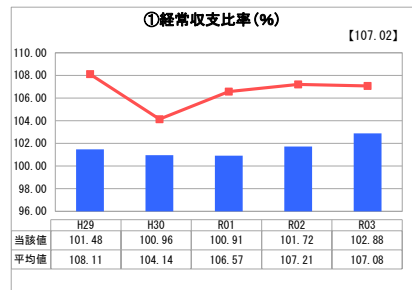
宮城県 美里町

業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2 非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	45.58	46.19	97.21
			1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
			3,740

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
23,845	74.99	317.98
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
10,955	3.60	3,043.06

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

③流動比率について
類似団体平均値を上回っているものの、100%を下回っている。使用料及び一般会計繰入金の見直しを行い、資金不足に陥らないように努める。

④企業債残高対事業規模比率について
整備途中であるため、比率が増加傾向である。企業債残高は令和10年度がピークで、以後減少する見込みである。

⑤経費回収率について
わずかに100%を下回っている。使用料の見直しを行い収益の確保に努める。

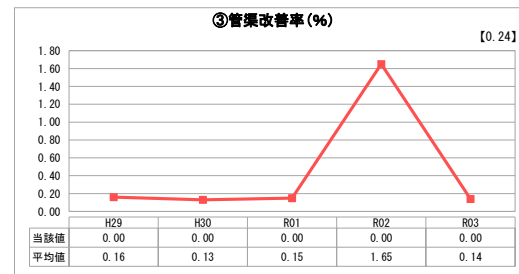
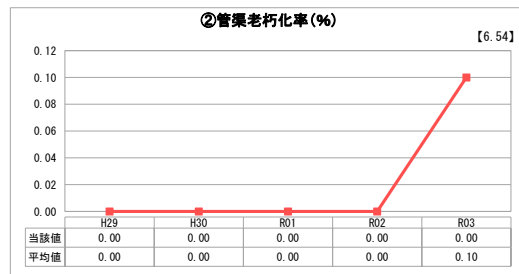
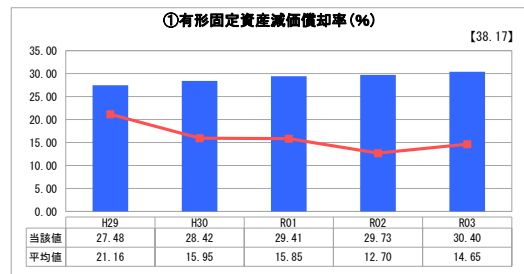
⑥汚水処理原価について
類似団体平均値及び全国平均を上回っている。今後も整備が続くため、使用料対象資本費が過大とならないよう抑制に努める。

⑧水洗化率について
整備途中であるため、水洗化率が伸びにくい状況である。整備率の向上に併せ、新規供用開始区域及び既供与開始区域の未接続者に対し、さらなる普及活動に努める。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率について
マンホールポンプ等の機器が耐用年数を迎えつつあるため、計画的に順次更新を行わなければならない。

2. 老朽化の状況



全体総括

短期的な課題としては、流動比率の改善及び水洗化率の向上が挙げられる。
水洗化率の向上及び使用料の見直し等による流動比率の改善が、経営の安定化に繋がり、また、経費回収率等の他の指標の改善も期待できる。
中長期的な課題としては、汚水管きょう整備の完了が挙げられる。また、企業債償還額の増大により厳しい経営状況となることが見込まれる。
整備工事を早期に完成させ、より多くの住民に利用してもらえる環境づくりに努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。